学校番号	４０７

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校　改訂版標準　国語総合」　（第一学習社）						
副教材等	常用漢字の基礎完全マスター（東京書籍）改訂版ビギナーズ古典（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語総合は 4 単位ですが、国語総合α（現代文）と国語総合β（古典）の 2 単位ずつに分けて学習していきます。
国語総合αでは、さまざまな文章を読み取る力を向上させるとともに、コミュニケーション能力を高めるための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかり身に付けてください。
国語総合βでは、文章を読みながら、古典独特の読み方やリズムに慣れ親しんでいきましょう。
授業内には適宜小テストを行い、基礎力の定着度を確認します。

2　学習の到達目標

正確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することが出来る。
目的や場に応じて、適切に自分の考えを表現することが出来る。
伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言語文化に対する関心を深め、国語を適切に表現し的確に理解する能力の向上を図ろうとする。	自分の考えを持ち、目的や場に応じて、効果的に話し、相手の考えを尊重し的確に聞き取ったりしている。	相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認および分析 （ノート、ワークシート）	記述の確認および分析 （ノート、ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想(一)	【近代以降】 教材:「スイッチを OFF にすることから始める」	○	○		○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 b:自身が感じた体験を他の人に伝わるように分かりやすく紹介している。 d:表現に込められた筆者の意図をとらえている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:記述の点検 b:行動の観察 d:記述の分析及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認
	小説(一)	「羅生門」	○		○	○		a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 c:下人の心情を理解し、老婆の心理をふまえた上で、自分ならどういう行動をとるか記述する。 d:登場人物の行動と心情を読み取っている。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認および分析 d:記述の分析及び定期考査
	評論(一)	「水の東西」	○	○		○	○	a:日本文化と西洋文化の違いについて関心を示している。 b:筆者の主張を読み取った上で、他者に分かりやすく説明している。 d:筆者の主張と東西の文化比較を読み取っている。 e: 慣用的な表現について理解している。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認

	詩	二十億光年の孤独	○			○	○	a:詩の読み方、楽しみ方を身につけようとしている。 d:作品に込められた筆者の心情やそこから想像されるものについて、理解を深めている。 e:他者の他の作品に触れるなどして作者についての理解を深めている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認 e:行動の観察、記述の確認
	古典入門	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 説話『沙石集』「三文にて歯二つ」 文法等　歴史的仮名遣い、文語の同士の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	小説(二)	教材:「卒業ホームラン」	○			○	○	a: 作品の主題を自分自身の視点での考察を深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して的確に読みとっている。 e: 語句の意味には広がりがあることを理解している。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e: 行動の観察
	評論(二)	「人はなぜ仕事をするのか」			○	○	○	c:「仕事」という概念を哲学的にとらえ、表現する。 d:文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。 e:文章の組立てについて理解している。	c:記述の確認および分析 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認
	評論(三)	「科学は正しいのか」	○			○	○	a: 本文の論理展開について理解を深めようとしている。 d: 「科学」とはどのような言葉か的確に読みとっている。 e:抽象的な語句について理解している。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e: 行動の観察、記述の点検

	歌物語	【古典】 『伊勢物語』 「東下り」 「筒井筒」 文法等　文語の用言の活用	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆	『徒然草』 「仁和寺にある法師」 文法等　文語の用言の活用	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	小説(三)	教材:「夢十夜」	○	○		○	○	a:作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 b:「第一夜」と「第六夜」のどちらが興味深かったかについて分かりやすく話している。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，その人物像をとらえている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e: 記述の点検
	短歌と俳句	「短歌」「俳句」	○	○			○	a:作品を音読し、韻律の響きを味わおうとしている。 b: 情景や心情の描写を取り入れて，短歌、俳句を作っている。 e: 詠嘆表現、体言止め，切れ字，対比，比喩などが，表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 e: 記述の確認

	小説(四)	「鏡」	○			○	○	a:作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 d:踊り場の鏡が作品中で果たす役割について、考えを深めている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認
	漢文入門	【古典】 教材: 故事成語五十歩百歩」 「矛盾」 「蛇足」 句法等　訓点、再読文字	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。